

## 論文審査の結果の要旨及び担当者

報告番号	博（医）乙第1754号	氏名	荒武 弘一朗
論文審査担当者		主査教授	伊藤 敬
		副査教授	由井 克之
		副査教授	近藤 宇史
<p>論文審査の結果の要旨</p> <p>1 研究目的の評価 本研究は、RNA スプライシングが Fas 遺伝子発現の変化に与える影響を明らかにしようとしたもので、目的は十分に妥当である。</p> <p>2 研究手法に関する評価 U937 細胞株を用いて、種々の化合物で細胞刺激しアポトーシスを誘導した。アポトーシスの誘導はフローサイトメーターで評価し、Fas 遺伝子発現の変化は RT-PCR で解析したもので、研究手法も妥当である。</p> <p>3 解析・考察の評価 上記手法で解析した結果、複数のアポトーシス誘導刺激は、serine/threonine phosphatase を活性化して Fas 遺伝子の選択的スプライシングを誘導することを明らかにした。選択的スプライシングの制御機序の解明はポストゲノム研究の重要課題のひとつであり、今後の分子生物学的研究への進展が大いに期待される。</p> <p>以上のように本論文は RNA スプライシングにおける分子基盤の解明に貢献するところが大きく、審査委員は全員一致で博士（医学）の学位に値するものと判断した。</p>			